

中学生が描く10年後の北区  
北区つながるワークショップ  
～未来を語る会～

平成27年7月、北区民まちづくり会議の委員と区内の中学生が集まり、大学生が進行役となって10年後の北区について「あったらいいな」「こうなったらいいな」と思うことや、未来に継ぎたい資源を「自然」「まち」「地域」に分けて話し合いました。そのワークショップで描(書)かれたイメージを掲載しています。



北区民つながるプログラム

これから5年間のまちづくり

自然 まち 地域

北山や賀茂川、環境など

文化や産業、生活基盤、観光など

地域活動やコミュニティなど



Collage of hand-drawn ideas and notes categorized by '自然' (Nature), 'まち' (Town), and '地域' (Community). Includes drawings of mountains, buildings, people, and various text suggestions.

# メッセージ

- メッセージ 1
- 『北区民つながるプログラム』について 2
- 「自然」とつながる 5
- 「まち(産業・文化など)」とつながる 7
- 「地域コミュニティ」とつながる 9
- 『北区民つながるプログラム』を進めるために 11
- 『北区民つながるプログラム』が掲げるまちづくりの目標 12
- 『北区民つながるプログラム』ができるまで 13
- 北区民まちづくり会議委員名簿 14

## 市長メッセージ



京都市長  
門川 大作

これからこの「北区民つながるプログラム」を基に、区民の皆さんの「自分たちのまちを自分たちの力で良くしていく」という熱い気持ちに支えられた「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりが大きく前進していくことを念じています。

「自然」や「まち」、「地域コミュニティ」など北区ならではの魅力、強みを生かし、多くの方々に「また行きたい」「暮らしたい」「住み続けたい」と心から実感いただけるまちの実現へ、共々に力を合わせて取り組んでいきましょう。

## 区長メッセージ



北区長  
長谷川 淳一

このたび、北区を愛する方々の熱い思いが詰まった「北区基本計画ーこれから5年間のまちづくりー北区民つながるプログラム」が完成しました。御協力いただきました多くの皆様に、心から御礼申し上げます。

平成27年に区制60周年を迎えた北区では、「Think 北区～みんなで考え未来を紡ぐ～」をコンセプトに多彩な記念事業を実施すると共に「人口減少社会」や「まちの安心安全」など今日的な課題への対応について、北区民まちづくり会議など様々な機会を通して議論してまいりました。その集大成として取りまとめた、このプログラムでは、「つながる・つなげる」をキーワードに、北区の未来を切り拓いていく「18のプロジェクト」を盛り込んでいます。

このプログラムを区民の皆様や大学、事業者等の方々と連携した「チーム北区」として“Link 北区”を着実に進め、「暮らしてみたい」「住んでいて良かった」と実感できる北区を築いてまいります。

## 座長メッセージ



北区民まちづくり会議  
座長  
市川 貢

「北区民まちづくり会議」では昨年度より、今後5年間で優先して取り組むべき重要な課題について議論を重ねてまいりました。会議では「北区民つながるプログラム」として素案を示し、区民の皆さんのご意見やご提案を反映する形で取りまとめました。

このプログラムでは、北区が目指すまちの将来像の実現に向けて、区民の皆さんが主体的にどう取り組めばよいのかをわかりやすく説明しています。皆さん、まずは参加・協力することから始めましょう！

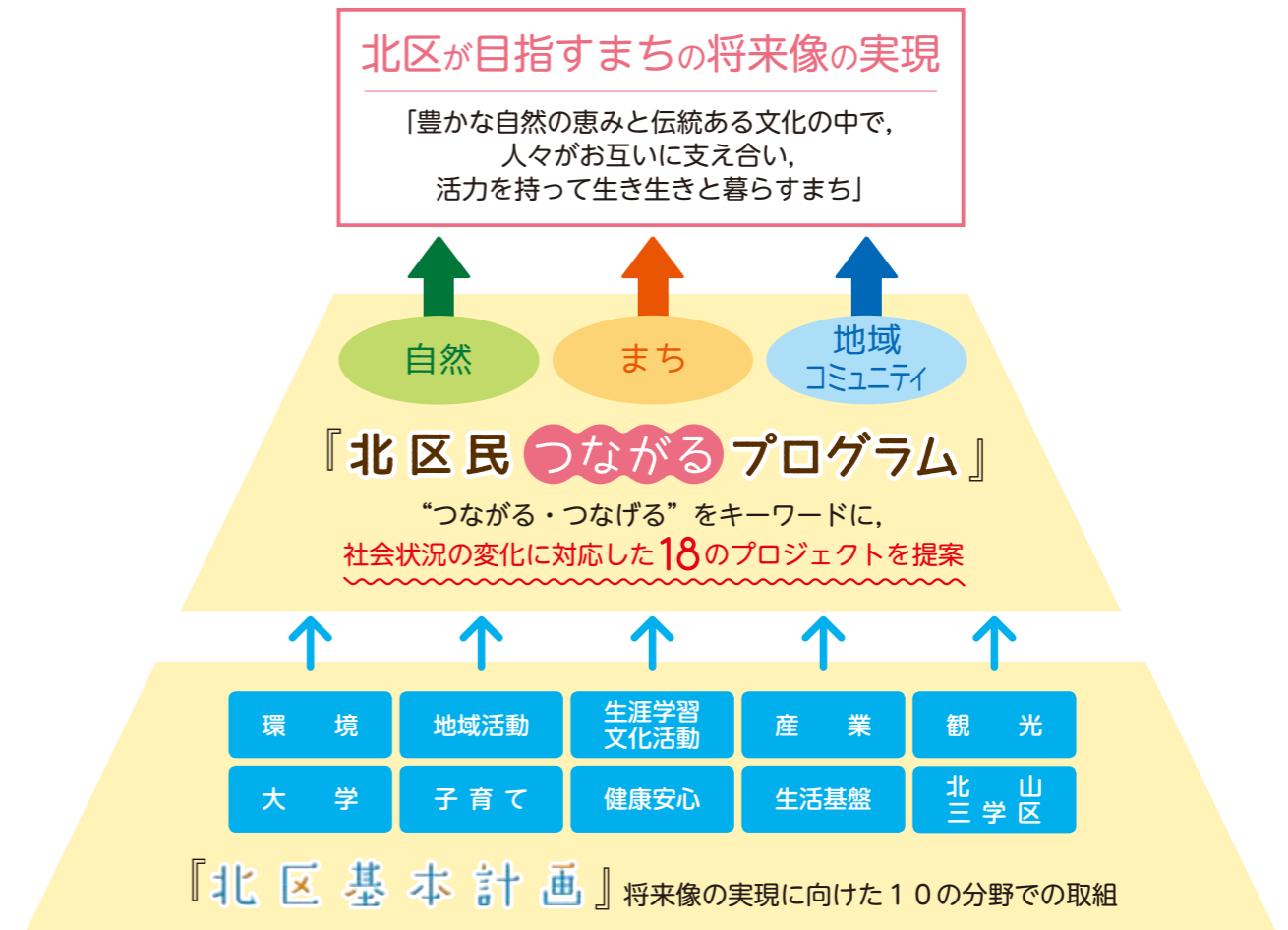
# 『北区民つながるプログラム』について

## 1 はじめに ～Think 北区からLink 北区へ～

北区民まちづくり会議（座長 市川貢 京都産業大学経営学部教授）では、「北区基本計画～はつらつ北区プラン～」\*1に掲げた10の分野（「環境」「地域活動」「生涯学習・文化活動」「産業」「観光」「大学」「子育て」「健康安心」「生活基盤」「北山三学区」）の73の主要な取組例の全てについて着手したことに加え、計画策定から5年目を迎え、また北区制60周年を契機とした北区のまちづくりの更なる発展を図るため、今日的課題である「人口減少社会への対応」や「安心安全のまちづくり」の推進、地域コミュニティの担い手としての学生をはじめとする「若者」や「子育て世代」等の地域活動への参加・参画の促進を視点に議論（Think 北区）してきました。

また、市政の重点施策である、誰もが安心安全に暮らし、観光できる、優しさあふれるおもてなしのまちを築く「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」や、人口減少社会の克服や一人ひとりが笑顔で、安心して生き、暮らせるまちを築く「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」、市民ぐるみで健康づくりに取り組む機運を高めていく「健康長寿のまち・京都」の推進に向けて、区民の皆さんと行政が主体性を持ちながら連携し、取組を進めています。

『北区民つながるプログラム』は、“つながる・つなげる”（Link 北区）をキーワードに、市政の重点施策と課題を共有しながら、北区が目指すまちの将来像の実現に向けて、区民\*2の皆さんが主体的に取り組むためのプログラムです。区民の皆さんと北区の資源（＝「自然・まち・地域コミュニティ」）とが、「知る・触れる・関わる」3つの段階を経てつながることで、北区の地域力が向上することを目指し、区民の皆さんがみんなで取り組む今後5年間のまちづくりを18のプロジェクトとして取りまとめました。



\*1 北区基本計画：平成32(2020)年度を目標とした10年間、どんなまちを目指すのか、それを実現するためにどうすればいいのか、北区のまちづくりを進めるために区民の皆さんと区役所が共有する長期的なビジョン（指針）です。  
\*2 区民：北区基本計画では、北区に通勤する人、通学する人など北区で活動する人も、北区のまちづくりにかかわる一員となっていただくことを期待して、区民に含めることとしています。

## 2 進める視点

地域での「つながり」が改めて必要とされています。

北区基本計画が策定されて5年目を迎える間、少子・人口減少社会の顕在化や、東日本大震災の発生など、私たちの暮らしに関わる大きな社会状況の変化がありました。

北区でも、人口が12万人を下回り、今後も減少すると予測されています。少子化・高齢化が進み、地域の担い手である若い世代が更に少なくなることは、地域コミュニティが弱まることにつながり、豊かで安心な暮らしを育んできた、まちづくり活動の充実や安心安全の取組の継続が危惧されます。そのため、健康寿命の延伸はもとより定年を迎えたシニア世代、子育て世代、学生や若者など多くの世代のまちづくりへの参画が、ますます求められています。

- 少子・人口減少社会 北区内人口：平成22年122,037人（国勢調査結果）▶平成27年119,537人
- 地震や風水害の顕在化：平成23年3月東日本大震災、平成25年9月台風18号、平成26年8月台風11号
- 北区内5大学・短期大学の学生数：平成27年 48,950人（8,068人 通信教育課程含む）

## 3 目指すもの

一人でも多くの来訪者や区民の皆さんが、北区の豊かな資源とつながり、「また行きたい」「暮らしたい」「住み続けたい」と実感することです。

多様なまちづくり活動が行われることによって、北区の資源（＝「自然・まち・地域コミュニティ」）が活かされ、「また行きたい」「暮らしたい」「住み続けたい」と実感できる魅力的なまちを育むことができます。

- 北区の豊かな資源 「自然」：北山や賀茂川、田畑や天然記念物など  
「まち」：地域特性を活かした文化や産業  
「地域コミュニティ」：地域活動で培われてきた住民相互のつながり

## 4 取り組むこと

区民の皆さんと北区の資源をつなげるために、「知る・触れる・関わる」機会を増やします。

区民の皆さんと北区の資源がつながる機会を、「知る・触れる・関わる」という段階に分けて整理し、これからの北区のまちづくりにつながる18のプロジェクトとして提案します。

- 資源とつながる段階 まずは「知る」：溢れる情報を整理し届けます  
つぎに「触れる」：色々な体験の機会をつくります  
そして「関わる」：区民の皆さんが取り組める仕組みをつくります

- 18のプロジェクト = 3つの資源「自然・まち・地域コミュニティ」  
×  
3つの段階「知る・触れる・関わる」（段階ごとに2つの提案）

## 5 実現のために

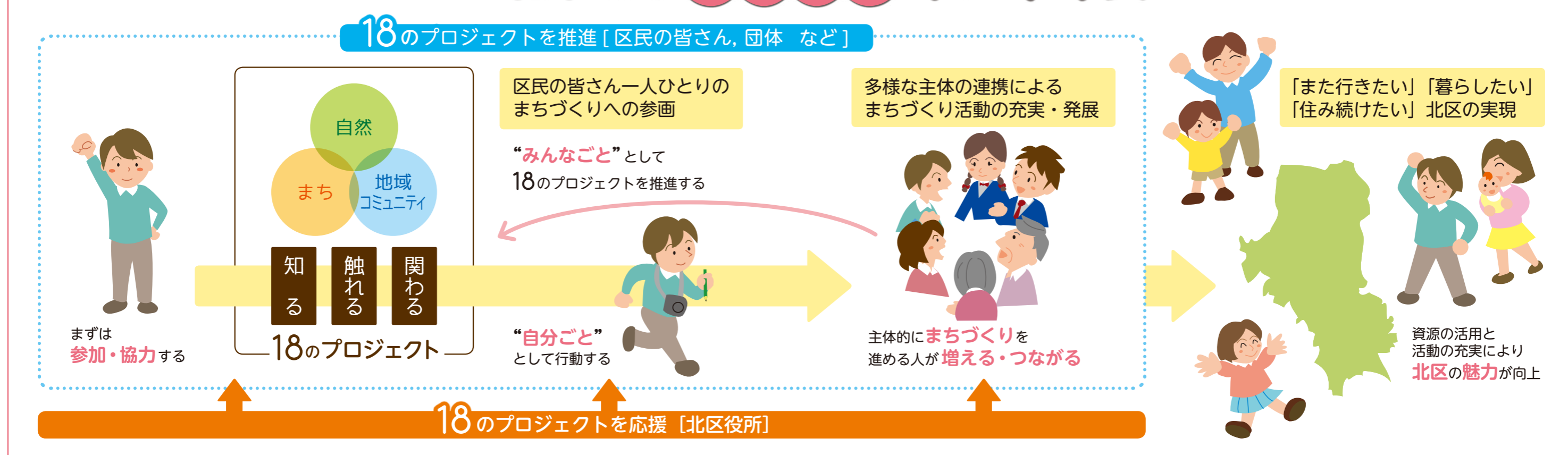
区民の皆さんが「自分ごと」「みんなごと」として主体的に相互に連携することで、これからのまちをつくっていきます。

これまで北区のまちづくりは、区民の皆さんと行政、団体や事業者の方々などが主体性を持ちながら協力し、共に作りあげてきました。

これからは、「つながる・つなげる」をキーワードに、区民の皆さんと行政が共に行動する「共汗型」のまちづくりを更に進め、18のプロジェクトを通じた、自分の力で自分たちのまちを良くしていく「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを進めていきます。

イメージ図

# 北区民 つながる プログラム



# 「自然」とつながる

## 現状

北山や賀茂川、船岡山や深泥池などの豊かな自然を有する北区。そうした豊かな自然は、自然環境の維持活動や、農林業に携わる人たちの仕事や暮らしの中で守られてきました。

しかし、少子・高齢化の急速な進展や生活環境の変化により、自然を育んできた担い手が減少することで、山の荒廃や休耕田の増加に留まらず、倒木や土砂災害、河川の氾濫など自然災害の発生が危惧されます。

## 目標

自然に関わる仕事を持つ人だけでなく多くの区民の皆さんが、健康増進や子育て、高齢者福祉などの多様な取組に自然環境を活かし、また関心を持つことで、豊かな自然を未来へつなぎます。

環境や自然について考える

食べたり歩いたり、近くの自然に触れる

環境保全や地域活性に向けて活動する



## 知る

### 1 北区の木、森、川、田畑などの自然に関わる仕事や暮らしを知る！

▶小野郷・中川・雲ヶ畑の魅力を発信するウェブサイト「北山三村」の認知度を高め、北区内の農林業の他、動植物についても学ぶ機会をつくり、自然と寄り添った豊かな暮らしや活動について、関心を持ち交流・共存するためのきっかけをつくります。

### 2 身の回りの環境やごみ問題への関心を持つ！

▶不法投棄防止や美化啓発の取組の推進、また、エコまちステーションなどの相談できる窓口の認知度を高めることで、山や河川、田畑、公園に捨てられるごみについて知り、出さないこと、捨てないことを当たり前にしていきます。

## 触れる

### 3 健康づくりに 北区の自然に向けて、触れる！

▶北山や賀茂川の自然、呂屋さんなどの店舗を、ドにつなげ、ウォーキと自然を掛け合わせた健康づくりを進めます。

### 4 子どもや子育て世代が、自然に触れる機会をつくる！

▶親子で、自然や農林業について学ぶ機会をつくれ、学び育つ環境を整えます。

## 関わる

### 5 山間地との持続的交流を進める！

▶「北山三学区まちづくりビジョン（平成26年3月策定）」に基づき、地域が進める交流人口の増加に向けた取組に、多くの人が主体的に関わる機会をつくります。

### 6 豊かな自然環境の保全・継承に向けて関わる！

▶自然環境の保全・継承につながる活動を身近に感じ、気軽に参加や協力できる機会をつくります。

# 「まち（産業・文化など）」とつながる

## 現状

世界遺産に登録された金閣寺や上賀茂神社などの優れた文化財を有する北区。賀茂なすや鷹峯とうがらしなど京の伝統野菜の産地であり、北山杉や西陣織なども引き継がれています。

また、昔ながらの町並みや商店街、地蔵盆、振り売りなど、暮らしの中で産業や文化が生まれ、何世代にもわたり受け継がれてきました。

## 目標

古くから住む人や新たに暮らし始めた人、留学生、通勤通学で通う人や観光で訪れる人が、北区ならではの産業や文化を身近に感じることで、日々の暮らしや観光に活かし、次代に継承します。

周りにある産業や文化を考える

歴史や文化を、まち歩きなどで体験する

産業や文化を、日々の暮らしや観光に活かす



## 知る

### 7 多様なまちの魅力を知る!

▶情報誌には載らないような文化や歴史を、コミュニティラジオやSNS\*1などを通じて区民自らが発信することで、魅力を伝え身近に感じるためのきっかけをつくります。

\*1 SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス。インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

### 8 公共交通や公園などの有効な使い方を考える!

▶公共交通利用促進や、公園や居場所に関するマップづくりなど、情報を整理し発信することで、公共のものを利用しやすくするとともに、区民の皆さんの関わりによって身近で魅力的なものにしていくきっかけをつくります。

## 触れる

### 9 地域の歴史文化に触れる!

▶観光マップやまち歩きツアーなどを通じて、区民の皆さんや来訪者が、身近に触れる機会をつくること、地域ごとに文化や歴史を育み継承する機会づくりを進めます。

### 10 産業や文化を身近に体験する機会をつくる!

▶歴史の中で培われてきた北区ならではの産業や文化について、体験や出会い、また情報を通じて触れる機会をつくるとともに、本質を深く知り、身近な暮らしに取り入れることにつなげていきます。

## 関わる

### 11 何度も訪れる仕組みをつくる!

▶体験型観光プログラム（着地型ツアー\*2）など、普段は体験できない学びの仕組みをつくることで、北区の歴史文化の奥深さを発信するとともに、何度も訪れるファンづくりにつなげていきます。

\*2 着地型ツアー：地域ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光の形態

### 12 空き家を活かして、暮らしや文化に関わる!

▶空き家を、子育て世代や学生・留学生の定住促進、ゲストハウスとしての利用など、積極的に活用することで、地域に賑わいを生み出すとともに、防犯防災にも役立てます。

# 「地域コミュニティ」とつながる

## 現状

みんなが安心安全に暮らしていくために、地域住民によるまちづくり活動が日々盛んに行われている北区。防災訓練や地域行事、清掃活動や挨拶など、普段のお付き合いを起点にあたたかな関係が育まれてきました。

しかし、空き家やワンルームマンションの増加、核家族化や高齢化の更なる進展、共働き・一人暮らし高齢者世帯の増加など地域の在り方が変化したことで、地域コミュニティの活動の担い手が不足して活動が衰退し、地域につながりが希薄化することが憂慮されます。

## 目標

新たな地域コミュニティの担い手である学生や若者、子育て世代や定年を迎えたシニア世代などが、地域活動や組織に参加することで、子どもや高齢者の見守り活動、防犯防災の取組などが充実した、安心安全で暮らしやすいまちを継続します。

地域活動について考える

ご近所さんに、挨拶する

みんなと一緒に、地域で活動する



## 知る

### 13 移り住んだ人も、地域活動を知る！

▶町内会加入情報や地域活動、暮らしに根付いた文化を、冊子やホームページなどで紹介することで、地藏盆など受け継がれてきた地域の文化や活動に、新しく移り住んできた人が関わるきっかけをつくります。

### 14 大学、学生と地域が、お互いを知る！

▶大学入学時や北区への転入時に、暮らしの手引きや地域情報を提供するなど、大学と地域がお互いの事業や取組に関して情報共有し、大学、学生と地域が関わるきっかけをつくります。

## 触れる

### 15 大学、学生の力を地域課題解決につなげる！

▶大学の研究成果や学生がマップづくりやまち歩きなどを通して地域と交流し、歴史や現状を学ぶ機会をつくります。

### 16 世代や立場を超えた地域での関係をつなげる！

▶地域活動の担い手となる地域とのつながりを必が、様々な活動や団体域での暮らしにおいて、つくります。

## 関わる

### 17 大学と地域が関わりあう！

▶地域が大学と関わる時にも、大学が地域と関わる時にも求められる、関係を仲介する人や仕組みについて検討することで、交流や活動が継続することにつなげます。

### 18 学区ビジョンの策定などを通して地域活動や自治会に関わる！

▶これまで地域活動に関わりが少ない若者や事業者に自治会の加入を促し、また、定年を迎えたシニア世代、子育て世代等を含めた幅広い住民が、地域の特性を活かした学区ビジョンづくりに参加、参画することで、新たな地域活動の担い手づくりを進めます。

# 『北区民 つながる プログラム』を進めるために

# 『北区民 つながる プログラム』が掲げる まちづくりの目標

自分のこと=自分たちのこと=○○○○=・・・=北区(みんな)のこと

『北区民つながるプログラム』では、「また行きたい」「暮らしたい」「住み続けたい」北区の実現に向けて18のプロジェクトを提案しています。これからの北区のまちづくりを進めるために、全ての区民の皆さんの参加と協力により、これからの5年間(平成28年度～32年度)でプロジェクトを進めていきます。  
自分一人のできることから、身近な仲間とできること、地域や団体でできることなど、まちづくりを一緒に進めていきましょう。

## 1 18のプロジェクトを進めるために

『北区民つながるプログラム』で提案した18のプロジェクトは、区民の皆さんがこの中から興味や関心があるものを選び、まずは自分のできることから進めていくことで、活動を通じて身近な地域や北区を知り、愛着を深め、主体的に行動していく「自分ごと」のまちづくりを目指しています。

また、地域や団体の方々には、日々の活動での知恵や力を活かして、18のプロジェクトに取り組むことで、多様な主体とつながる機会を増やし、仲間の増加や活動の充実につなげる「みんなごと」のまちづくりを目指しています。

一人ひとりができることから、地域や団体での取組など、多様な主体によりプロジェクトが実現すれば、多くの区民の皆さんが北区の豊かな資源と出会い、日々の暮らしを充実させることにつながります。

## 2 18のプロジェクトを支える北区役所の役割

区民の皆さんが主体となって進める「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを応援するために、行政と地域が連携して取り組んできた共汗型のまちづくりを更に進めていきます。

### 「知る」を応援

地域や団体、区役所からの情報など、まちづくりを知る機会はたくさんあります。これからは、新たな情報媒体の構築や多様な情報の集約・整理などを行い、必要な情報が適切に伝わるように取り組みます。

**主な事業** send a smile プロジェクト、コミュニティラジオ・SNSを活用した情報発信、  
【新規】地域コミュニティ加入促進(応援プロジェクト)

### 「触れる」を応援

地蔵盆などの地域行事や、区民の皆さんがみんなで取り組むイベントなど、日々たくさんの取組が行われています。これからは、地域や団体での既存の活動や、18のプロジェクトに沿った新たな取組などに、より多くの区民の皆さんが触れ、活動に関心を持てるような取組を進めます。

**主な事業** 北区民ふれあい事業：「北区民ふれあいまつり」・「北区魅力再発見事業」・「北区民ふれあい発表会」  
ニコニコ 北っ子事業：「親子で楽しむコンサート」・「親子で学ぶ京の旬野菜クッキング」・「こどものまち」  
「すくすく赤ちゃん広場」

### 「関わる」を応援

地域活動や市民活動など、まちづくりを進めるたくさんの取組主体があります。それらの取組主体の交流の機会を設け、活動に対する助成制度によりまちづくり活動を支援するとともに、新たにまちづくりに参加・協力をする方が増えるよう取り組みます。また、『北区民つながるプログラム』の推進組織を作り、地域を核とした北区のまちづくりを推進します。

**主な事業** 北区つながるワークショップ、北区民まちづくり提案支援事業、  
みんなでつくる安心安全なまち北区運動プログラムの推進、  
【新規】学区まちづくりビジョン策定(応援プロジェクト)、【新規】北区未来につながる区民会議の創設、  
【新規】北区「WA(わ)のこころ」創生ネットワーク会議の創設

市政の重点施策と緊密に連携しながら、『北区民つながるプログラム』に取り組むことにより、平成32年度までに次のことを目指します。

- ◆北区で「暮らしたい」「住み続けたい」と実感できる魅力的なまちを育むことで、人口減少に歯止めをかけることを目指します(平成27年度：11.9万人⇒平成32年度：12万人)
- ◆地域コミュニティ活性化のため、自治会等加入率の向上を目指します(平成24年度：72%⇒平成32年度：80%)
- ◆地域まちづくりの指針となる「学区まちづくりビジョン」を、多様な地域コミュニティ組織の参画の下、全ての学区(18学区)での策定を目指します(平成27年度：4学区⇒平成32年度：18学区)

## —「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを進めるためのおすすめ情報—

### ☑まちづくりに関する情報が集まる場所

施設/北区役所、北青少年活動センター、北区社会福祉協議会、北いきいき市民活動センター など  
情報/市民しんぶん北区版、北区役所配架コーナー、北区役所ホームページ、  
自治会町内会&NPO おうえんポータルサイト、北山三村(北部山間地域のホームページ)、  
きたく資源発掘センター(北区のまちづくりや、文化・産業・観光等に関わる魅力を広く発信するホームページ)、NPO法人コミュニティラジオ京都(RADIO MIX KYOTO)、  
区民交流スペース、地域の交流サロン TAMARIBA、季刊フリーペーパー「北区じかん」など

### ☑まちづくりに触れる各地域や北区の取組

地域/地蔵盆、夏祭り、学区民運動会 など  
区内/北区民ふれあいまつり、北区魅力再発見事業、北区民ふれあい発表会、FUNAOKA STANDARD、  
北コミまつり など

### ☑まちづくり活動を支援する北区の取組

北区つながるワークショップ、北区民まちづくり提案支援事業 など



# 『北区民 つながる プログラム』ができるまで

策定の経過 ～Think 北区からLink 北区へ～



## 北区民まちづくり会議委員名簿 (平成28年3月現在)

敬称略

	氏名	所属等	所属部会
座長	市川 貢	京都産業大学経営学部教授	—
副座長(部会長)	志藤 修史	大谷大学文学部教授	福祉・中山間
副座長(部会長)	島田 昭彦	京都精華大学非常勤講師	文化・観光
副座長(部会長)	谷口 浩司	佛教大学社会学部教授	大学・まちづくり
副座長(部会長)	宗本 晋作	立命館大学理工学部准教授	環境・都市デザイン
	池田 徳治	京都市農業協同組合上賀茂支部長	環境・都市デザイン
	内田 雅子	洛陽保育園理事長	福祉・中山間
	加畑 美奈	公募委員	環境・都市デザイン
	小泉 岳志	京都市小学校PTA連絡協議会北下支部理事(楽只小)	大学・まちづくり
	佐々木徳昭	北区「人づくり」ネットワーク実行委員会委員	文化・観光
	田井 祥文	北山街協同組合代表理事	文化・観光
	高奥 英路	紫竹自治連合会会長	環境・都市デザイン
	田中美保子	御園橋801商店街振興組合理事長	大学・まちづくり
	田中安比呂	賀茂別雷神社宮司	文化・観光
	谷口みゆき	京都「おやじの会」連絡会幹事	大学・まちづくり
	中村 アヤ	公募委員	文化・観光
	林 正則	紫野カルチャー亭運営協議会会長	福祉・中山間
	福永 泰正	新大宮商店街振興組合理事長	環境・都市デザイン
	福村 毅之	北大路商店街振興組合理事長	環境・都市デザイン
	淵上 佑樹	理想の森プロジェクト代表	福祉・中山間
	星野 宏	株式会社淡交社総務部長	文化・観光
	森 貞子	北区社会福祉協議会会長	福祉・中山間
	森下 武洋	京都北山丸太生産協同組合理事長	福祉・中山間
	森下 徹	北区市政協力委員連絡協議会世話人代表	大学・まちづくり
	吉田 光一	株式会社フラットエージェンシー取締役会長	大学・まちづくり

## 前委員

氏名	所属等	所属部会
鎌田 泰正	京都市小学校PTA連絡協議会北上支部理事(大宮小)	大学・まちづくり
日下部 潔	京都「おやじの会」連絡会幹事	大学・まちづくり
本田 秀一	北区市政協力委員連絡協議会世話人代表	大学・まちづくり



発行：平成28年3月  
京都市印刷番号第273212号  
北区役所地域力推進室【電話】075-432-1199